



2011年6月21日

## プレスリリース

### 一般社団法人 日本原子力学会

2011年3月11日に発生した東日本大震災において、多くの方々が犠牲となられ、また被災されましたことについて心からお悔やみとお見舞いを申し上げます。

一般社団法人日本原子力学会は、社会的関心の高い科学技術である原子力の広範囲にわたる**学術・技術専門家集団**として**社会への情報提供**を行うため、本会の主要な活動等について、随時プレスリリースを行っています。

今回は、6月17日の第54回一般社団法人日本原子力学会通常総会にて選任されました新会長、新副会長の紹介です。

### **新会長に田中 知氏（東京大学大学院工学系研究科教授）が就任** **—日本原子力学会の真の使命を果たすべく—**

平成23年3月11日に発生した東日本大震災に伴う福島第一原子力発電所事故は、国内外に大きな衝撃を与えました。我々日本原子力学会（以下学会）に対しても、専門家集団としての使命が十分果たせたのかという厳しい問いが投げかけられています。昭和34年の学会設立以来、今ほど私たちの存在意義が問われている時はありません。反省すべき点は謙虚に反省し、事故の収束、サイト内外の環境修復、そして原子力安全確保のために専門家集団として我々は何をなすべきか、その役割を十分に果たすことが早急に求められています。

これまで、エネルギーセキュリティーや地球温暖化防止といった問題解決の重要なエネルギー源として、原子力エネルギーは利用されてきました。今後の学会の使命として、原子力エネルギーが引き続き社会に貢献するために、原子力技術安全の在り方についての見直しの議論を先導しなければならないと考えております。また、医療・基礎科学分野においては、放射線を利用することによる大きな技術進歩が展開されております。原子力及び放射線利用に関する学術及び技術の進歩を図り、社会に貢献することも、学会が果たさなくてはならない務めであります。

今一度、我々は学会設立の原点である行動指針、倫理規程に立ち返り、己を省みることが必要であります。すなわち、学会員ひとりひとりが、事実を尊重しつつ、公平・公正な態度で自らの判断を下すという高い倫理観を持ち、公平・公正かつ透明な議論の場を通じて、社会に対して信頼できる情報を発信する等の活動を真摯に行うことが出来るよう会長として最大限の努力を致す所存であります。

なお副会長には下記の3名が就任いたしました。

澤田 隆 三菱重工業㈱原子力事業本部原子力技術センター  
原子炉安全技術部担当部長／東京大学特任研究員  
野村茂男 独立行政法人日本原子力研究開発機構 理事  
堀池 寛 大阪大学大学院工学研究科 教授



田中 知 新会長

日本原子力学会への取材等お問合せ担当：広報情報委員会  
TEL: 03-5707-0104(2297)／090-4379-5652  
(小川順子：東京都市大学)